

平成23年度 緑区生活支援センター事業報告書

平成23年度は第2期の指定管理を受託し、職員一人ひとりが気持ちを新たに事業に向かって取り組んだ年になったと感じています。今年度より新規事業として「自立生活アシスタント事業」も加わり、従来の「地域活動支援センター事業」「地域移行・地域定着支援事業」の3事業を柱に、更に「生活支援事業」をプラスして事業を展開しました。生活支援事業に於いては、下半期より宿泊支援事業として、年度当初からの計画であった宿泊の練習が必要な入院中の対象者への宿泊支援の実施にも至ることが出来ました。また、それらの事業を円滑に遂行する為の地域連携も更に強化し、当事者のみならず、家族や地域住民、地域の支援者等への協働及び支援を実施しました。

I 利用実績

利用者数等については別添資料1参照

II 支援内容

1. 地域活動支援センター事業及び相談支援事業

(1) 相談支援 … 利用者の相談に必要な支援及び関連する資源への繋がり等を十分に意識した相談支援を実施しました。

また、非構造面接に於いて利用者の隠れた課題を検証し、必要に応じた支援及び関係機関との連携した支援を行いました。

更に、支援センター等、精神関連機関への相談になかなか繋がらない一般の住民や家族を対象に、地域により近いケアプラザを会場にした「個別出張相談」を毎月実施し、相談を受けると共に社会資源等へ繋げることが出来ました。

(2) 情報提供 … 移りゆく制度や施策及び種々の社会資源の情報等をいち早く入手し、様々な方法（センター便り、ホームページ、館内掲示等）を用いて利用者やその家族、関係機関等に提供しました。

(3) 場の提供・地域交流…当事者グループの定例会、サークル活動の為の場の提供及び地域交流として他障害機関や地域の色々な施設等との共催により地域住民との交流や情報提供等を実施しました。

(4) 自主事業 …区福祉保健センターや区内関係機関との連携、また利用者参加型の企画を意識し、利用者同士、他機関職員との交流及び自主性を重んじたプログラムを実施しました。

※別添資料2参照

(5) 訪問・同行 …定期的な訪問及び地域移行地域移行・地域定着支援事業、自立生活アシスタント事業との連携によって有機的な訪問・同行を実施しました。

- (6) ボランティア育成…緑区社協、区福祉保健センター、他関係機関との協働でボランティア講座「こころの病を抱えた人がわかる講座」を2ヶ所の地域ケアプラザを会場に開催し、ボランティア活動を考えている人達への育成に力を入れました。
- (7) 家族支援 …発症間もない家族を対象にした「家族教室」と緑区内の家族会との合同による「家族教室」の2種を実施し、家族の不安解消と情報提供に寄与しました。
また、家族に対する「家族による家族学習会」への協力を行い、家族会への支援を実施しました。
- (8) その他 …「利用者アンケート」や「メンバーミーティング」、「意見箱」及び利用者から寄せられた直接的な意見や質問等について職員ミーティング・全体職員会議において協議し、早急に対応すると共に、掲示等により利用者には回答内容等を周知しました。

2. 地域移行・地域定着支援事業

地域移行（退院）することのみならず地域定着を意識した支援を実施し、退院後も再入院にならない様、その地域の支援センターや関係機関及び区福祉保健センターとの連携を図りながら、地域生活を見据えた支援を実施しました。

今年度下半期より実施した「宿泊支援事業」と連携し、退院後の単身生活やグループホーム等での生活への体験として宿泊の練習も取り入れました。

また、地域移行の為の「医療機関」への普及啓発と安全な地域生活の為の「地域」に対する普及啓発等にも力を入れました。

※統計については別添資料1参照

3. 自立生活アシスタント事業

本事業は、23年度より実施の事業であり、単身で地域生活を送っている精神障害者が安心して、安全に暮らしていけるよう支援をしました。また、センター事業や地域移行・地域定着支援事業とも連携を図ることも意識した事業展開を実施しました。

また、緑区内の他自立生活アシスタント、区福祉保健センターとの定期的な連絡会により、本事業を円滑に実施する為の情報共有や事例検討等を行いました。

※統計については別添資料1参照

4. 生活支援事業（地域支援事業）

精神保健福祉関係の社会資源につながらず、支援センターにも来所することが困難な方々への支援及び地域との交流の機会を提供することを目的に、支援センター内でのプログラムではなく、地域に出向く形で定期的実施しました。

- ①ビーズ作り…中山地区センターを会場に、地域のボランティアを講師として、誰にでも制作できる簡単なビーズ作りと地域の方々にも広報し、参加を促し交流を図りました。毎月1回（12回開催）し、延209名の参加がありました。

②講習会・相談会

- ・家族教室：発症後間もない（5年未満）、また家族会に所属していない精神障害者の家族を対象として、講座形式による情報提供と家族同士の交流を図る為、毎回グループワークを実施しました。
講義内容は精神科医師による「病気について」、病院薬剤師による「薬の作用と上手な付き合い方」、関係機関 MSW による「制度、リハビリ、家族の対応」、支援センター職員による「社会資源について」の3回シリーズでの実施。
また、家族会との交流と関係作りを目的に「就労支援について」「当事者の体験談」を実施しました。
- ・こころの病を知る講座：地域の方々、家族、地域の民生委員等を対象にし、緑区内のケアプラザと協働し、「こころの病について」また、当事者による体験談発表を実施しました。

生活支援事業（宿泊支援事業）

宿泊支援事業は23年度、下半期より実施しました。他法人と協定を締結し、グループホームの空き部屋を利用した宿泊練習を支援しました。

今年度は、地域移行・地域定着支援事業に於ける利用者で、退院後の地域生活を円滑に進める為に宿泊練習が必要と思われる方を対象に、2回実施しました。

III. 普及・啓発活動

精神の障害に対する割合は近年急上昇しており、反面、偏見や差別はまだ根強く残っているのが現状です。その為地域での生活が困難と思っている障害者が多く居ることも現状です。当センターの責務として地域に対する「普及・啓発活動」は特に力を入れて実施する必要あると考えています。

今年度実施した主な活動

- ・緑区は公営住宅で生活している精神障害の方が多いため、団地の自治体や在住している一般の方々に対して普及・啓発活動を講義形式で実施しました。
- ・緑区社協の送迎事業での精神障害の方への対応に関する送迎ボランティアへの働きかけとしての活動を実施しました。
- ・地域の支援者（ケアマネジャー、民生委員、他障害施設職員等）、社会資源に繋がっていない家族等に対する普及・啓発活動を地域のケアプラザと連携し実施しました。
- ・その他、大学の授業の一環として福祉従事者をめざす学生に対する啓発活動として、社会資源や精神障害の現状等についての講義を実施しました。

IV. その他

1. 職員資質の向上・人材育成

利用者が安心して地域生活を送る為には、支援者の適切且つ豊富な知識、また利用者寄り添う資質が重要であり、職員の育成に関して種々の対策を講じました。

外部の研修の参加、支援センター内部での職員学習会等を実施し、職員の資質と知識の向上に努めました。

2. 衛生管理

年2回、清掃業者による館全体の清掃、及び月4回近隣地域作業所による清掃、また毎月1回調理器具の消毒、漂白やシーツ類の洗濯を行い、衛生管理に努めました。特に調理室の衛生や調理に使用する布巾、タオル等については清潔を保つよう徹底しました。

3. 安全管理・災害対策

安全管理に関しては、利用者個々の日々の様子を意識し、不穏時の対策等について、日頃の職員ミーティングや職員全体会議に於いて検討、対応策を講じました。

災害対策は、昨年の中日本大震災を鑑みて、「特別避難場所に協力する協定」に基づき、万一の災害時対策として、災害備品（発電機、サーチライト等の照明機器、ラジオ、懐中電灯等）を整備し、避難所としての整備を固めました。

また、地区内の災害連絡会等にも参加し、万一に備えて地域との連携を強化しました。

1. 平成 23 年度 緑区生活支援センター 年間運営状況

開所日数		354 日	
登録者数	23 年度登録	96 名	
	全登録者数	835 名	
利用者数	本人	10,499 名	29.5 名/日
	家族	106 名	0.3 名/日
	ボランティア・関係機関	1,480 名	4.2 名/日
相談支援	電話相談	17,996 件	51 件/日
	面接相談	965 件	2.3 件/日
	訪問・同行	202 件	0.6 件/日
	非構造面接	1,820 件	5.5 件/日
	嘱託医相談	48 件	1.4 件/回
各種サービス	夕食サービス	7,009 名	19.8 名/日
	入浴サービス	240 名	20 名/月
	洗濯サービス	75 名	6.3 名/月
	インターネットサービス	714 名	2 名/日

2. 地域移行・地域定着支援事業 年間実績

23 年度支援者数		8 名	
退院者数	アパート設定・自宅	1 名	支援継続 4 名
	グループホーム	3 名	支援中止 1 名
	生活訓練施設	2 名	
	生活保護施設	名	
普及啓発活動	病院（患者、従事者）	2 回	関係機関・地域 2 回

※普及・啓発活動：江田病院・新横浜こころのホスピタル

東洋英和女学院大学・十日市場ケアプラザ

3. 自立生活アシスタント事業 年間実績

23 年度支援者数	登録者	9 名	相談中	5 名
支援内容	面接	43 回	心理情緒	338 回
	訪問	171 回	医療健康	229 回
	同行	66 回	就労	62 回
			衣食住	245 回
			対人	168 回

【定期行事】

回数	プログラム名	内容	場所	参加人数
12 回	昼食会	麺類・丼・定食他	支援センター	246
24 回	スポーツ根性クラブ	ショートテニス・ソフトバレーボール	緑スポーツセンター	201
22 回	緑菜園	季節の野菜の植え付けと収穫	市民菜園	77
12 回	作って食べよう	メンバーと料理	支援センター	97
3 回	卓球大会	センターでの卓球大会	支援センター	31
6 回	茶話会	趣味・自己紹介等	支援センター	85
4 回	M. ミーティング	センターに関する事について	支援センター	42
12 回	たこ焼会	メンバーと共にたこ焼会	支援センター	148

【季節の行事】

月	プログラム名	内容	場所	参加人数
4 月	お花見会	桜を見ながら会食・演奏・歌	四季の森公園	14
6 月	春のバスハイク	観光	江戸東京博物館、柴又	34
6 月	ホテル観賞会	初夏の風物詩、蛍観賞	四季の森公園	16
7 月	七夕飾り	七夕の飾り付け	支援センター	5
7～9	カキ氷会	カキ氷を作って食べる	支援センター	44
8 月	納涼会	流し素麺・バーベキュー	青少年野外活動センター	50
10 月	ハロウィンキャンドルナイト	夜のキャンドルを楽しむ	支援センター	29
11 月	秋のバスハイク	観・みかん狩り	小田原末廣等	25
12 月	クリスマス会	緑区関係機関合同 X マス会	支援センター	83
1 月	初詣・カルタ大会	元旦お参り、カルタ等	杉山神社・支援センター	18
2 月	餅つき会・豆まき会	緑区合同餅つき、豆まき会	青少年野外活動センター	30
2 月	お汁粉会	お汁粉作り	支援センター	16

【地域交流】

回数	プログラム名	内容	場所	参加人数
12 回	地域生活に役立つ健康管理の SST	心と身体の健康作り	支援センター	119
2 回	あおぞら合同防災訓練	避難訓練・消火器訓練	センター・地活全館	16
20 回	合同ソフトボール	練習・練習試合	白山ハイテクパーク	89
1 回	みどりコスモスフェスタ	体験コーナー、出し物、製品販売等	支援センター地活全館	約 300
1 回	ボランティア講座	心の病を抱える人が分る講座	鴨居・長津田ケアプラザ	59
1 回	フレンドシップ杯	ソフトボール大会	金沢産業振興センター	5
1 回	霧が丘中学校ボランティア体験	中学生のボランティア体験	支援センター	7

【地域支援事業】

回数	プログラム名	内容	場所	参加人数
12 回	手作りビーズクラブ	ボランティア講師によるビーズ作り	中山地区センター	209
5 回	出張個別相談	地域の方からの相談	東本郷ケアプラザ	9
4 回	家族教室	情報提供・グループワーク	ハーモニーみどり	57
1 回	こころの病を知る講座	地域対象の普及啓発活動	東本郷ケアプラザ	23

平成23年度 財団法人紫雲会緑区生活支援センター指定管理料収支決算書

自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

(単位 円)

科 目	予算額	決算額			
		合計	指定管理費	地域移行・地域定着	自立生活アシスト
I 収入の部					
1 指定管理料 収入	60,682,000	60,682,000	60,682,000		
収入合計	60,682,000	60,682,000	60,682,000	0	0
II 支出の部					
1 人件費	51,634,000	50,336,029	34,089,886	7,702,662	8,543,481
(1) 給与	24,562,000	24,701,830	16,355,560	3,942,750	4,403,520
(2) 職員手当等	16,080,000	16,258,964	10,464,212	2,756,378	3,038,374
(3) 賃金	4,064,000	2,479,130	2,479,130		
(4) 法定福利費	6,033,000	5,845,220	4,006,086	878,613	960,521
(5) 厚生経理費	895,000	1,050,885	784,898	124,921	141,066
2 施設管理費	3,578,000	3,732,021	3,732,021	0	0
(1) 光熱水費	1,956,000	1,842,818	1,842,818		
(2) 管理運営費	1,687,000	1,749,043	1,749,043		
(3) 修繕積立金	20,000	200,000	200,000		
(4) 利用者負担金充当分	△ 85,000	△ 59,840	△ 59,840		
3 運営費	5,470,000	4,266,066	3,221,210	678,663	366,193
旅費	870,000	878,310	551,040	276,990	50,280
一般物品費	230,000	239,374	239,374	0	0
印刷製本費	450,000	210,996	121,486	44,755	44,755
修繕費	50,000	87,375	87,375	0	0
役務費	800,000	666,196	379,278	180,759	106,159
借料損費	1,340,000	791,496	488,558	154,199	148,739
器具什器費	100,000	245,260	245,260	0	0
施設賠償保険	230,000	13,770	13,770	0	0
保健衛生費	20,000	8,757	8,757	0	0
日用品費	230,000	221,827	221,827	0	0
教養娯楽費	250,000	299,338	299,338	0	0
雑費	900,000	603,367	565,147	21,960	16,260
4 租税公課		385,468	385,468		
支出合計	60,682,000	58,719,584	41,428,585	8,381,325	8,909,674